



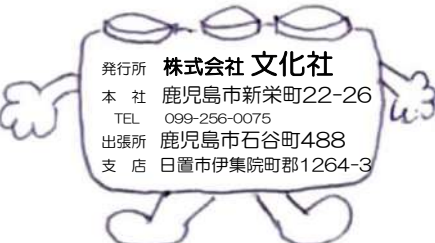
鹿児島市東俣町にあった精米所が2020年12月に閉じたそうです。それを知った小山田町の稲盛さんが今年2月に譲り受け、再開されました。1年以上使用の無かった精米機は整備が必要で稲盛さんが毎日通い部品交換などの整備されたそうです。奥様は高齢だしお米は重たいと反対だったそうですが、放っておけなくて手伝いはじめたということです。(素晴らしい夫婦愛!)

精米所が次々とコイン精米に替わる中、昔ながらの精米を行うこの場所の再開のために地域の仲間も手伝ってくれたそうです。

この精米はコイン精米機に比べ少し割高だが、熱を帯びにくく美味しいお米ができるとのこと。

10月は新米の季節です。今年はぜひ稲盛さんの精米所で精米してみてもいいのでは？今までは、一味も二味も違う美味しいお米が食べられるかも。

# かたいもんそ



平成15年5月創刊 「かたいもんそ」は、<http://bunka-inc.jp>にてご覧いただけます。65号は令和4年10月1日より配布開始しています。

天災地変により不自由な生活をお送りの皆さまへのご憂心の意を表します。

今年の猛夏も、社員にご厚意ご厚情を戴きましたおかげで励まされ、英気をいただきのりきれたようです。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。また、今年入社した新卒者への6カ月間にわたる教育期間を経て、いよいよ一人でお客さまを訪問することも出てまいります。失敗やミスもあると思いますが、サービスに関する技術は勿論ですが、同時に「謙虚に、素直に、明るく、前向きに、感謝する」ことも教えています。至らぬ点、叱咤激励、ご指導ご鞭撻もよろしくお願いいたします。

京セラの創業者、鹿児島出身の稲盛和夫氏がお逝去されました。現在のKDDIをつくり、経営破綻したJALの再生も成し遂げ経営の神様とも言われています。弊社は、同氏の経営や生き方に対する「考え方=フィロソフィ」を学んでいます。全社員が班ごとに5～8名に分かれ毎朝30分づつ勉強をしています。人として正しいか？利己ではなく利他で考えているか？小善ではなく大善か？など、わかっているはずの「道」ですが、実際に思いや行動にできているかということ、恥ずかしいことばかりが現実だと思われま。水処理に関する知識も学びますが、人として正しいか？という普遍的な道徳や価値観も大切に思い、社員全員で共に学ぶことで同氏の意を活かしていこうと考えています。



社長：土屋要丸

お客様紹介 △○□×雑草アート ～花尾町～



鹿児島市花尾町JR九州岩戸口停留所近くにある果樹園跡に△○□×の雑草アートができています。

果樹園跡約1500平方メートルに巨大な雑草アート。所有者の窪田さんが草を刈り取って作成したそうです。

一見、何を意味しているのかわからない？窪田さんは、先が読めない世の中を表現。見た人が自由に解釈して楽しんで欲しいと思いを込めています。

下書きはせず、今までの勤と経験で草刈り機で作上げたそう。近所の方や通りかかった人は不思議そうに果樹園を見ているそうです。5年ほど前、景観維持のために草刈りで地域おこしに役立てようと思立ち、新元号の令和や新型コロナウイルス収束の願いを込め、5670(コロナゼロ)を作成したそうです。

来年はどのような雑草アートができるか今から楽しみですね！

## 令和4年度 浄化槽維持管理技術研修会

表記の研修会、新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに開催されました。感染対策により、参加人数を制限しての開催となりました。参加者はいつもの半数に制限され、パーテーションが置かれ、入口では、検温、消毒がなされるなかでの勉強会でした。

弊社からは、ベテラン管理士や経験浅い管理士、若手社員含め10名で参加しました。

はじめに浄化槽法定検査について話があり、鹿児島県と九州地方の各県との比較が示されました。(7条使用開始検査、11条定期検査)

次に、性能評価型(モアコンパクト)浄化槽の維持管理に関する内容が続きました。小容量化や構造の複雑化に伴い、従来の知識と技術では各設備の能力を発揮させることが難しくなっています。

現在販売されている浄化槽(モアコンパクト)については、さらに小容量化が進み構造の複雑化しています。

私達は、浄化槽の管理をお客様から委託され仕事をさせて頂く立場です。適正に維持管理を行うために必死で講習受けました。

今回の講習会で得た知識を活かして、これからの業務に取り組んでいきます。



## 教育研修 鹿児島県保全協会実施 社員研修会

7月29日、8月31日に全社員の知識と技術の向上を目的に、社内研修を開催しました。講師に鹿児島県環境保全協会さんをお迎えし、浄化槽の法律、浄化槽の処理原理、浄化槽の基本的な構造について学びました。

社歴の浅い社員さんも一人で現場に行く機会も増えており、お客さまから様々な質問をいただくことがあります。適切にお答えするのが責務との思いから企画されました。熟練社員にとっては今までの業務における復習、社歴の浅い社員にとってはこれからの業務に活かすための内容となりました。合計3回シリーズの2回が終わりました。この学びが少しでもお客様のためになれば幸いです。



## 教育研修 「事務員先生」による社内勉強会

6月30日、日頃事務所で仕事をしている事務員を講師に、社内事務共有勉強会を開催しました。浄化槽に関する書類やお客様にいただく書類、市役所に提出する書類の作成、記入方法などを理解したうえで記入押印等頂けるように計ったものです。

日頃、多くの人前で話をする機会が少ないため緊張気味で話をしていましたが、時間が経つにつれ的確に要点を話してくれました。実際、書類作成を行わない社員もしっかりとメモをとり、お客様から何時、何処で聞かれてもしっかりと対応できるように、真剣に勉強していました。



## ボランティア 夏祭り花火大会後の清掃奉仕活動

8月14日、早朝、郡山・松元で開催された夏祭り花火大会後の清掃活動に計22名が参加しました。早朝でしたが、汗をかきながら清掃活動を行いました。両会場とも打ち上げ花火のかすこそ散乱していましたが、ゴミなどは少なく感じました。毎年ですが、夏祭りに参加される方々のマナーが良くなっています。郡山会場ではグラウンド整備も行い、後に使用される方々が気持ちよく使用できるように社員、商工会の方々と頑張りました。地元振興に欠かせない地元の夏祭りが、来年も開催されることを祈念しています。





犬迫町萩別府地区に神秘的な場所があるのをご存じですか？

まず、ご紹介するのは『シラス壁の坂』

道路に迫りくる高さ5メートルほどの垂直なシラス壁。

ここは車がようやく一台通れるほどの狭い坂道です。

両側の壁は地肌が荒く削げ高さ数10メートルの迫力で、  
集落と田園を結ぶ道となっています。

水道ができるまでは水を汲むためにこの道を利用していたそうで、歴史を感じる神秘的な空気を感じることができます。



次にご紹介するのはシダ類の群生地。

片方にはコケ類が、もう片方にはシダ類がびっしりと生息しています。

空高く伸びている樹木で日差しが遮られひんやりとした空気が漂っており、普段の生活の中でなかなか見ることのできない風景で筆者も圧倒されました。

ところで皆さん、コケとシダの違いはご存じですか？

シダ植物とコケ植物は両方、種子じゃなくて胞子で増える植物。

違いは、①葉っぱ・茎・根っこの区別があるか？ ②維管束（根から吸い上げた水分や養分が通る道）はあるか？ の2点だそうです。

ちなみに、葉っぱや茎や根が区別できる植物はシダ植物、区別できない奴はコケ植物と覚えておくと良いですよ。

それぞれの植物が好みの環境の中で生息しているのですが、その神秘的な空間にとっても癒されることができました。

スマホやパソコンなどデジタル機器が当たり前の時代。次のお休みには深い緑の不思議な空間で癒されてみてはいかがでしょうか。



お客様  
の紹介 嬉しいお言葉を頂きました！ ～石谷町～

浄化槽の点検で、石谷町のあるお宅に伺った時の出来事です。弊社の浄化槽管理士O君が、点検時に浄化槽の上に落ち葉が落ちていたので周りを清掃していました。

O君はいつもの行動で特別なことをしたわけではなかったのですが、お客様がその行動を見ておられたようです。

その時に頂いた書です。お客様は書道をされておられるようで、その場で書いて下さったと聞きました。

「狂いなし 泣くも笑うも 蒔いた種」深い意味の言葉です。

O君のように「あたり前の行動があたり前にできる」。今回の出来事で改めて大切なことだと考えさせられました。

私達の仕事は派手な仕事ではありません。しかし、お客様からのお褒めの言葉や励ましのお言葉頂くと、とても嬉しくやりがいを感じます。鹿児島の自然を次世代に繋ぐために、これからも頑張ります！

泣くも笑うも  
蒔いた種  
狂いなし

石谷

社員の日報より



Hさんの日報より

午後から、とても日差しが強くなりました。お客様から飲み物等の差し入れをたくさん頂きました。優しいお客様が本当に多いなと日々感じます。

Nさんの日報より

浄化槽の清掃を行っていたら、お客様が来られ「こんなに綺麗にして下さって、ありがとうございます。」とお礼を言われました。普通の清掃を行っていたのですが、こんなに感謝されるとやりがい、そして励みになります。この気持ちを忘れずに明日からも頑張っていきます。

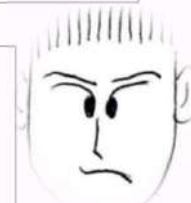


Yさんの日報より

本日事務所に来られたお客様より、「この前浄化槽の清掃来た2人組（ベテランTさん、新人Mさん）はすごく感じの良い人だった。若い人も暑い中頑張ってた」とすごく褒めていただきました。会社の仲間のことを褒めて頂いて嬉しくなりました。

Tさんの日報より

敷地入り口にあった大きな木が伐採してあり、車両を奥の方まで入れられ通りの車の出入りも気にせず作業することができました。作業終了後、奥様に尋ねるとご主人様が浄化槽の清掃作業のことを考えて、休日に伐採して下さったようです。気遣いに感謝し、お礼をお伝えしました。



Yさんの日報より

浄化槽の清掃に伺い車両を停車したところ、向かいの家の方が洗濯物を取り込み始めたのでしばらくエンジンをかけず待ってから作業を開始しました。終了後、向かいの家の方から「ありがとうございます、気遣いが嬉しかった」と声を掛けて頂き、飲み物まで頂きました。

Nさんの日報より

お客様からバキューム車の魚のプリントがいいね！と言われました。最初は、魚屋さんだと思う人多いらしくバキューム車と分かった時も、とても良い印象が持てたとおっしゃっていました。

